

みどり豊かな森林を
栄 村

森林組合報

第60号

令和3年6月16日

発行者 栄村森林組合

代表理事組合長 櫻 沢 俊 一

印刷 栄村森林組合

第65回通常総代会 開催される！

栄村森林組合第65回通常総代会を4月27日栄村文化会館に於いて開催しました。

新型コロナウイルス対策のため、来賓は宮川村長、福原議長のみでの開催でした。事前に資料の配布を行い、慎重審議の中時間短縮に努めました。（詳しくは2ページをご覧ください）

（令和2年度の主な事業報告）

コロナ渦により、人の動きが制約されることによる、社会・経済の打撃は大きく、林業・木材関連事業でも、木材流通が滞り、価格の低下が進みました。各関係機関と協力し、何とか乗りきってきましたが、受託森林整備や木材の販売量（売上金額含）は大きく落ち込みました。このような中、国有林・森林整備センターの生産請負事業等受注し順調に作業ができました。

（森林整備事業で前年対比217%）

事業取扱高は計画対比110%の2億1千5百万円です。管理費の削減につとめ307万円（税引後）の当期剰余金になりました。

系統運動の最終年で目標に達していない数値もありますが、コロナ禍の中で、一定の成果を上げることができたのは、組合員の皆様はじめ関係機関各位のご理解に感謝申し上げます。



（主催者あいさつ 櫻沢代表理事組合長）

組合員の皆様には、森林組合事業にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年はコロナ禍で木材流通が鈍り、価格低下に苦しみましたが、秋口から徐々に回復し、年度末には前年なみの水準となりました。森林は、私達の暮らしに欠かせない大切な財産です。森林税や、森林環境税等、税制面に於いても森林を活かす動きが加速しています。今冬は、大雪のために、多くの倒木が電線を切断し、長期停電が多発しました。電気に頼り切っている私達の暮らしのもろさを痛感しました。そのため今年度村では、ライフラインの予算を確保しています。組合としても出来る限りの体制で事業推進したいと思います。これからも次世代に豊かな森林を引き継ぐために、役職員一同努力して参ります。

総代会には、総代の皆様から書面議決書を提出いただきありがとうございました。

総代会の決定事項

- 1.令和2年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について
- 2.令和3年度事業計画について
- 3.令和3年度役員報酬決定について
- 4.令和3年度賦課金の額及び納期の決定について
- 5.令和3年度借入金の最高限度額決定について
- 6.令和3年度余裕金預け入先の決定について
- 7.一組合員に対する貸付金の最高限度額決定について

J Forest森林・林業・山村未来創造運動（系統運動）～次世代へ森を活かして地域を創る～

栄村森林組合運動方針	現状（27年度）	2年度実績	令和2年度目標値（H27年時）
森林経営計画策定面積	1,485ha（現状）	1,826ha	1,800ha（目標値）
認定施業プランナー	2人（現状）	3人	4人（目標値）
林業機械	8台（現状）	9台	13台（目標値）
現業職員	10人（現状）	11人	12人（目標値）
間伐生産量	3,505m ³ （現状）	5,072m ³	6,000m ³ （目標値）
主伐生産量	0m ³ （現状）	0m ³	1,000m ³ （目標値）
事業利益	△2,854千円（現状）	577千円	5,000千円（目標値）

令和2年度事業報告



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
書面議決を多くいただき感染防止に努めました

貸借対照表 令和3年2月28日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
1. 現金	92,455	1. 買掛金	515,890
2. 預金	180,276,361	2. 未払金	9,575,167
3. 受取手形	361,999	3. 未払消費税	4,549,300
4. 未収金外	7,946,283	4. 未払法人税等	182,500
5. 棚卸資産	15,233,183	5. 賞与引当金	2,140,360
6. 立替金	0	6. 預り金	2,136,616
7. 仮払金	2,324,737		
流動資産合計	206,235,018	流動負債合計	19,099,833
固定資産		固定負債	
1. 建築物	12,198,961	1. 退職給付引当金	17,508,931
2. 構築物	2,230,685	2. 役員退任慰労引当金	300,333
3. 機械装置	559,133		
4. 車両運搬具	632,918	固定負債合計	17,809,264
5. 工具備品	12,776,054		
6. 土地	1,220,110	純資産の部	
7. 森林所有林	2,476,224	1. 出資金	37,126,000
分収林	32,094,087	2. 法定準備金	73,303,000
有形固定資産計		3. 任意積立金	93,500,000
1. 系統出資金	3,604,000	損失補填積立金	3,072,841
2. 系統外出資金	2,000,000	4. 当期剰余金	5,647,942
3. 預託金外	133,240	5. 前期繰越剰余金	3,000,000
4. 長期前払費用	9,427,913	特別業務負担金取崩	935,378
固定資産合計	15,165,153	資本準備金	216,585,161
資産合計	253,494,258	負債・資本合計	253,494,258

令和2年度収支決算書

部 門	収 入	支 出	損 益
指 導	490,330	765,875	△ 275,545
販 売	40,510,744	31,524,667	8,986,077
加 工	31,045,011	30,544,861	500,150
森 林 整 備	121,159,556	89,417,740	31,741,816
事 業 総 計	193,205,641	152,253,143	40,952,498
管 理 費		40,375,332	△ 40,375,332
事 業 利 益			577,166
事業外・特別損益	2,644,675	1,500	2,643,175
税引前利益			3,220,341
法人税・住民税			147,500
当期剰余金			3,072,841
任意積立金取崩			3,000,000
当期末処分剰余金(繰越剰余金を含め)			11,720,783

令和2年度剰余金の処分について

科 目	訳	小 計	合 計
当期末処分剰余金			11,720,783
法定準備金		620,000	620,000
損失補てん積立金		5,000,000	5,000,000
次期繰越剰余金			6,100,783

令和3年4月27日に栄村文化会館「かたくりホール」に於いて第65回通常総代会を開催しました。総代数199人の内本人出席14人、書面134人、計148人(74.37%)出席で、総代会議長に柳在家の関沢昭一郎さんを選出して議事が行われ、上程した7号議案すべてが承認決定されました。

指導部門

2月に21会場で集落懇談会を実施し160名の組合員から出席いただきました。(1会場コロナ禍で中止申込あり)

「森林組合報」を5月・2月に発行しました。

販売部門

受託販売事業は、前年対比取扱量で31%、取扱金額では25%。コロナの影響を受け厳しい数字になりました。

加工部門

今年度も苗場山木道工事の資材販売がありましたが、前年度対比89%。苦しい状況が続いています。

森林整備部門(森林整備事業)

木材価格の低下等により委託間伐事業(組合員の森林整備)を縮小し、請負事業を中心に行いました。それにより実績を上げることができました。(前年度対比217%)

(利用事業)

冬期除雪も、降雪が多く計画以上の取扱になりました。

(購買事業)

皆様のご利用のおかげで、計画以上の販売ができました。ありがとうございました。

賦課金納入のお願い

総代会で決定いただいた賦課金は、7月に各区長さんを通じ依頼する予定です。納入いただくようお願い申し上げます。組合員500円の平均割です。

賦課金口座振替利用のお願い!

JANAがのに口座をお持ちの組合員さんへ

賦課金の納入については、毎年区長さんをお願いし納入いただいています。事務省力化や時代の変化により口座振替にご協力ください。JANAがのに口座をお持ちの方で、口座振替を希望される方は、JANAと森林組合が直接手続きする用紙をお届けしますので、総務課へご連絡ください。電話87-2352

組合員 異動届提出のお願い

組合員の名義変更(相続・譲渡等)、住所変更などがありましたら、それぞれの異動届の提出が必要になります。手続きについて、ご不明の事などありましたら、総務課までお問合せください。



(ジェイフォレスト) 森林組合系統のロゴマーク

令和3年度事業計画

令和3年度収支計画書

(単位 千円)

部 門	収 入	支 出	損 益
指 導	470	905	△ 435
販 売	43,500	34,150	9,350
加 工	19,700	19,250	450
森 林 整 備	157,175	117,626	39,549
事 業 総 計	220,845	171,931	48,914
管 理 費		46,199	△ 46,199
事 業 利 益			2,715
事業外・特別損益			223
税 引 前 利 益			2,938
法 人 税 ・ 住 民 税			200
当 期 剰 余 金			2,738
前 期 繰 越 剰 余 金			6,101
当期末処分剰余金(繰越剰余金を含め)			8,839

(指導部門)

- ・組合報を年2回発行します。・集落懇談会を実施します。
- ・次期系統運動の方針作成に向けて、各種研修会等に参加します。
- ・生産森林組合の認可地縁団体移行へ進めて参ります。

(販売部門)

- ・系統共同出荷体制によるカールリットを活かし、要望に応えます。
- ・買取林産、請負林産の事業量増加させ労務の雇用に努めます。
- ・需要先の要望に応じた造材を行い、有利販売に努めます。

(加工部門)

- ・チップ事業は安定供給を行い、販路拡大に努めます。

(森林整備部門)

- ・地域林業の担い手として、計画的かつ効率的な森林整備をします。
- ・搬出間伐を低コストで行うために、森林作業路の開設を進めます。

(管理部門)

- ・意識の共有化を図り経費削減に努めます。
- ・安全運転を徹底し事故等を無くします。
- ・コンプライアンス研修会を行い徹底を図ります。

「森林施業プランナー」に 2名合格！認定されました

森林施業プランナーとは

日本の森林は一人あたりの所有面積が零細のため、面的な森林管理のためには小規模所有者を含めた施業の集約化が前提になります。

提案型集約化施業の業務を行うのは

「森林施業プランナー」です。森林所有者に代わって、ゾーニングに基づいた面的なまとまりを持つ計画である森林経営計画を作成します。次いで、施業提案書を作成し、森林所有者へ提示して施業を受託します。

組合では1名認定されていますが、今年1月に2名受検し合格しました。新たなプランナーは

丸山 棕弥さん

長野県林業大学校を平成28年3月に卒業し同年4月から組合に勤務いただいています。

入社5年が経過し今年度はフォレストリーダー研修を受講しリーダーを目指します。

上野 由希菜さん

長野県林業大学校を平成29年3月に卒業し4月から組合に勤務いただいています。

入社4年が経過し、事務所に現場に毎日忙しく過ごしています。

今後、森林経営計画作成時には組合員の皆様にお世話になりますのでよろしくお願い致します。

第71回長野県植樹祭 スタッフによる植樹が行われました



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、招待者無しで、スタッフ植樹が6月4日さかえ倶楽部スキーで行われました。植栽は コナラ500本、クヌギ500本、レンゲツツジ500本、ヤマツツジ500本、カタクリ100株等がスタッフ約80名で植栽されました。

初めて栄村で開催された、長野県植樹祭がこのよう形で終了しました。長野県北部地震から10年が経過し県民の皆様現在の栄村の姿を見ていただく機会でしたが、通常開催が出来ずに残念でした。

労働安全衛生の 今年度の基本方針

昨年10月に4日以上の方災が発生しました。3週間程で仕事復帰できましたが、6年以上無災害を継続してきたので残念です。

4日以内の休業も、ハチ刺され、切り傷の2件のみでした。

気持ちを新たに、翌日から無災害を目指しスタートしています。

今年度もこれまでと同じく、基本の重要性を認識し活動を推進します。

基本方針

自分の職場から労働災害を発生させないために、作業は基本マニュアルを徹底し、安全な環境を構築する。

安全衛生目標

- 1・安全第一・品質第二・能率第三
- 2・危険を予知し、危険を共有し、一年間無事故で頑張ろう
- 3・災害情報システムの徹底と 仲間の健康情報を 共有する

毎月、安全作業に向けて作業の実行を徹底し無災害で作業を行います。

2022年春採用の 職員を募集します！

森林組合では、来年春採用の現業職員を募集します。現業職員数名採用予定です。募集受付は7月下旬の予定です。キャリアアップ形成のため、年齢は40歳以下となります。森林組合で働きたい方がいましたら、お問合せください。

村外の方でも、森林・林業に興味を持ち、栄村で働きたい方がいましたらご紹介ください。お待ちしております。

あ と が き

コロナ感染症の第4波が蔓延している中で、栄村は65才以上の方のワクチン接種が終了間近です。人口1720人程の村ですので、全員が接種するまでに、時間はかからないと思いますが、接種の後、結構痛いと言いますので、少し恐いです。(^-^); 外国では、接種完了者はマスクをしなくてもいい所があるようで、これから夏に向けてマスクは苦しいので、日本も早く終息して、マスク無で、行動出来るようになるといいですね。

み

森林組合の事業推進体制

代表理事組合長	櫻沢 俊一	
参 事	久保田 道一	
総務課長	斉藤 みどり	課総括・総務・庶務ほか
総務課係長	森川 大	総務・受託森林全般
総務課係員	松下 加奈	総務・購買
業務課係長	広瀬 将文	森林整備(請負)全般
業務課係員	上野 由希菜	公社造林・森林整備
○ 事務所職員	6名	平均年齢 41才
業務課 現業班		
リーダー	木内 貴文	小林 弘幸
班員	月岡 晃	山田 善久 山田 祐樹
班員	山本 栄一	坂井 広男 丸山 椋弥
班員	斉藤 碧人	斉藤 富実也
○ 現 業 職 員	10名	平均年齢 40才
○ 短期技能職員	4名	平均年齢 59才
電話番号	0269-87-2352	

新人職員紹介

名前：松下 加奈

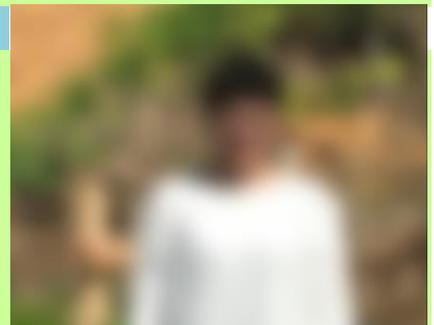
(まつした かな)

出身：千葉県(箕作在住)

4月から事務所で勤務
いただいています。

事務所では、購買業務と

会計業務等をおこなっています。組合員の名前や集落などわからない事が多いですがよろしくお願いします。



#木材が足りない #ウッドショック！

木材相場が急激な値上がり局面を迎えています。

コロナ渦の中、アメリカの住宅着工が好調で内需が増加、日本国内への供給が不足し、米材製品の値上がりが続いています。材料を購入することが出来ない、住宅業界や林業業界の中ではこれを「ウッドショック」と呼んでいます。

国内の木材自給率は約40%弱、6割以上を外材に頼っています。この木材輸入量が減少しているため、国産材の価格は値上がり傾向が続いています。しかしこれは、製材用の直材におけるもので、合板用の丸太価格等においては急激な価格上昇は現在ありません。

「木材の価格が上がり森林組合はいいね。」など住宅業界関係者に言われる事もありますが、急に山から木材を伐り出せる状況にはありません。森林組合は森林経営計画の基計画的に森林施業を行っているためです。しかし、国産材が見直されこれまで以上に利用していただき、価格も上がることは林業業界にとって持続可能な施業を行う中で喜ばしい事です。